

IkkiIkki なかつ

特集 P.3 - P.6
呼吸器内科「部長インタビュー」

Vol.102
TAKE
FREE



副院長、呼吸器内科部長 長谷川吉則

かぜは 万病のもと

P.1 川嶋院長 年賀挨拶
新しい年を迎えて

休診日カレンダー

2020年
2月～4月
カレンダー



●赤丸は休診日です

第2・第4土曜、
日曜、祝日、12/31～1/3、
5/30(創立記念日)

※詳しくはホームページにて
ご確認ください。
※ご不明な点は、各診療科に
お問い合わせください。

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



社会福祉法人 恵馬 済生会支部
大阪府済生会中津病院

WEBサイトをご覧ください
<http://www.nakatsu.saiseikai.or.jp/>
携帯・スマホの方はこちらよりアクセス▶



〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目10番39号 TEL:06-6372-0333(代表)

○初診の方・再診で予約のない方 8:30～11:30(再診受付機8:00～) ○再診で予約のある方 ※ご予約の診療時間までに受付をお済ませください。
○休診日 第2・第4土曜、日曜、祝日、12/31～1/3、5/30(創立記念日) ※診療日・時間は変更になる場合がございます。※ご不明な点は、各診療科にお問い合わせください。

令和2年1月28日発行 第102号 発行元:大阪府済生会中津病院 広報室 お問い合わせ 06-6372-0333

完成イメージ



(仮称)大阪府済生会大淀南リハビリテーション病院 2023年(令和5年)春、竣工予定



新しい年を迎えて

大阪府済生会中津病院 院長 川嶋 成乃亮



2023年春、大淀南地区に新病院を開設いたします。
大阪府の地域医療構想では、急性期病床が充実している一方で回復期病床が不足しています。その状況を踏まえ、中津病院より回復期リハビリ病床を移設し、大淀南地区にリハビリテーション病院を開設します。新病院では在宅復帰支援と在宅でのリハビリ支援の機能を担うとともに、介護・福祉の関連施設と連携し、地域包括ケアシステムの構築を目指します。

新年号令和となり初めての新しい年を迎えます。そして院外報『いきいきなかつ』から生まれ変わった『KIKIKIなかつ』も再発刊されて2年目を迎えます。まだ発展途上ではありますが、地域の方々に、済生会中津病院のことをよく知っていただき、それとともに医療・介護に関して、今以上に多くのことを知っていただくことのお役に立つような内容を目指しています。
少子高齢化が一層進む中、医療を取り巻く環境もさらに大きく変わろうとしています。これからの医療は、病院中心の考えから地域においてかかりつけ医の先生方の診療所はもとより介護・福祉の諸施設とも緊密に連携しながら、地域全体で住民の方々の健康を守るといふ方向に進んでいくと思います。そういう流れの中で、中津病院は済生会ならではの病院の特色を生かし、地域の全ての方々に、人に優しい質の高い医療を総合的に提供していきたいと考えています。



病床数 回復期リハビリテーション病床96床

所在地 大阪市北区大淀南2丁目2-20

敷地面積 3914.76㎡

構造・規模 鉄骨造・地上10階・塔屋1階

※老人福祉施設、乳児院、看護専門学校、訪問看護ステーションなどの複合施設として建設予定



令和という言葉には「めでたく和やかで夢が実現できる時代」という意味が含まれているようですが、本誌を読んでいただくことが、皆さまの健康に対する知識を深め、皆さまが和やかなそして夢を持った生活をしていかれることのお役に立てばと思っております。
いよいよ本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。本年が皆さまにとってワクワクするような良い年になりますよう祈念いたします。

「かぜは万病の もと」と



いよいよ冬本番。気温が低くなり、空気が乾燥するこの季節は、かぜなどの感染症がピークを迎える時期です。そこで今回は、呼吸器内科の長谷川吉則部長に呼吸器に関する感染症や疾患について、予防法や注意すべき点などをお伺いしました。

かぜは予防が一番
正しくしないと逆効果に

呼吸器の疾患は非常に種類が多く、主なものとして肺がん、肺炎、結核、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎などがあります。かぜもその1つで、正式には「かぜ症候群」といい、上気道（鼻やのど）の急性炎症の総称で、さまざまなウイルスによる感染が原因です。かぜがきっかけで肺炎になったり、いろいろな病気を引き起こす可能性もあります。予防法としては、うがいや手洗いをしっかりとし、人混みを避けてマスクを着用する、バランスの良い食事と休息を取るなどが基本です。逆に間違った方法などはあるのでしょうか？

「時々、予防にイソジンなどのうがい薬を使われる方がいらつしゃいますが、あれは逆効果です。炎症などを起こしている時は良いのですが、神経質になってイソジンとかでうがいをしていると粘膜を痛めたり、ヨードが入っているので甲状腺機能に影響する可能性があります」

目的です」

また、中津病院では、COPD・ぜんそくに関して吸入指導ネットワークの構築にも力を入れています。COPDの吸入薬には噴霧式や粉のタイプなど形もいろいろな種類があつて吸入方法も異なるため、指導しても患者さんが上手くできなかったり、最初はできていてもだんだん自己流になっていったり。そうなることを防ぐの薬も効果が期待できません。そこで、北野病院、住友病院、北区・大淀区の医師会・薬剤師会、吸入療法のステップアップを目指す会と連携し、医師や薬剤師・看護師を対象に講習会を開いてこの医療機関、どこの調剤薬局に行っても適切な吸入指導が受けられるようにすることを目指しています。

階段を上るとき息切れ
実はCOPDかもしれません

階段を上ったり、坂道を歩いたりしている時に、息切れが強くなつていませんか？それはCOPDの症状かもしれません。COPDとは、タバコなどの有害な物質で長い間吸い続けることで起こる肺の病気で生活習慣病の一種といえます。気道が炎症を起こしたり、酸素を取り込む肺胞壁が壊れたりし、その結果、息切れを感じたり、慢性的なせきや痰が続きます。

「現在、COPDの患者さんは20数万人といわれていますが、それは治療を受けている人の数であつて氷山の一角です。実際には500万人以上いると推定されています。COPDの最大の原因は受動喫煙も含め、タバコによるもの。タバコを止めたとしても、喫煙の影響というのは5〜10年残るといわれており、止めるなら早い方が良いです。それだけ症状の悪化が少なく済みます。残念ながら、COPDは治る病気ではありません。治療としては、吸入薬で気管支が狭くなっているのを拡げる、炎症を抑えるなどが今の症状を改善し、進行を遅くするのが

また、高齢の方で多い誤嚥性肺炎^{ごえんせい}では、口腔ケアをしっかりと口の中を清潔に保つておくことが予防に大切です。

「歯や入れ歯をきちんと洗っておかないと口の中に菌が繁殖して、寝ている間に気管に入つてしまいます。せきをしたりして菌を出す機能が高齢の方はどうしても落ちているので、知らないうちにそれで肺炎を起こしてしまうのです」

かぜが治っても

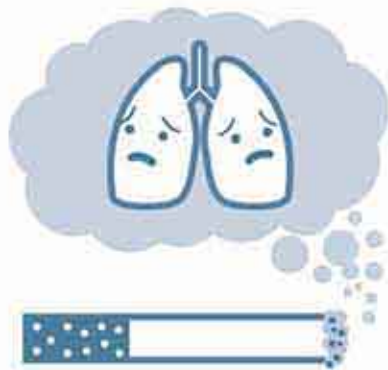
せきが長引く場合には要注意！



「もし、3週間以上せきが続くようであればかかりつけのお医者さんや呼吸器内科を受診してください。せきぜんそくや結核などの病気が隠れている可能性があります。また、肺がんも気管支の根元にできるとせきがでることがあります」

もともと持病があると、かぜが引き金となつて悪化させてしまうケースもあります。

「COPDは、かぜやインフルエンザがきっかけで肺炎になったり、急性増悪したりすることがあります。肺機能が悪化すると、息が苦しくなつてあまり体を動かさなくなったり、筋力が落ちて、寝たきりになる。動こうとしても動けない。負のスパイラルに陥つてしまいます。そうならないためにも日頃の予防はとても大切です」



FOCUS

呼吸器内科

患者さんに信頼され、
安心して受けてもらえる
検査・治療を目指し、
診療科全員が一丸に



中津病院の呼吸器内科では、肺炎結核以外のほぼ呼吸器疾患全般を診療しています。所属するドクターもぜんそくや呼吸器管理などそれぞれに強みを持ちつつも、どのような疾患でも診ることが出来るメンバーが揃っています。それをけん引するのが2人の副部長。上田副部長は外来を週3日こなす一方で、ぜんそく・COPD患者の吸入指導ネットワークの構築に尽力しています。東副部長は睡眠時無呼吸症候群の検査・治療の中心であり、また診療科内の体制や外来の振り分けなどの調整役を担っています。昨年3名が新たに加わり、総勢10名(1名は専攻医)のドクターが、長谷川部長を先頭に協力しながら「ONE TEAM」で今日も診療に当たっています。

STAFF紹介

東先生 <紹介者：長谷川先生>

まさに頼れる若手のリーダーです。私が一々指示をしなくても東先生に伝えておくだけで、診療科のみんなをまとめて進めておいてくれるので非常に助かっています。また、院内の横断的なプロジェクトである、院内呼吸管理チーム、免疫チェックポイント阻害薬の副作用対策チームの中心として活動されており、今後もさらなる活躍を期待しています。



呼吸器疾患で苦しむ人を少しでも減らすために

今後の目標として「次世代を担う呼吸器内科医の育成」を挙げられた長谷川先生。実は呼吸器疾患は患者さんが多い割には医師の数が足りていないのです。中津病院周辺は全国でも呼吸器内科がそろっている地域ですが、それでも十分に患者さんに対応できていないとはいえない状況です。

「現在、呼吸器内科を志してくれる若手が少ないのが大きな課題です。忙しくてなかなか手が回らない部分もあるのですが、しっかりと臨床研究をし、学会発表をして業績を出していけば若い先生も来てくれると思うので、そこを頑張って1人でも多くの呼吸器内科医を育てて、増やしていくことが私たちの使命の1つだと思っています」

最後に読者の皆さまへのメッセージをお伺いしました。
「当診療科が目指すのは、患者さんが安心して受けてもらえる



医療です。私たち医療従事者が普通に言っていることでも、ご高齢の方だとなかなか英語とか混ざってきたりすると理解が難しいケースもあるので、なるべく使わないようにしています。特に肺がんの患者さんにはなかなか厳しい話をしないといけないことも多いので、専門用語を避けてなるべく分かりやすい言葉遣いでの説明を心掛けています。せき・痰・息切れが続くなど気になる症状があれば、ぜひ一度ご相談ください」



先生ありがとうございました。

Profile

副院長、呼吸器内科部長 長谷川 吉則

☆趣味は？

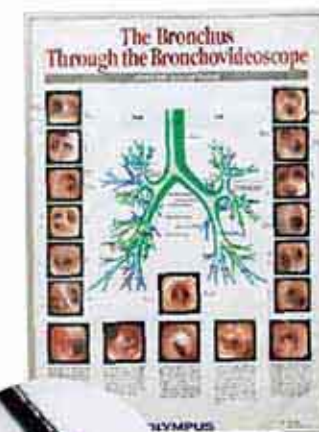
旅行、美術館・博物館巡り

☆今、一番大切にしていること

家族、家

☆心掛けていること

信頼。得るのは大変ですが、失うのはすぐです。患者さんはもちろん、病院スタッフ、地域の先生方から信頼していただけるよう常に心掛けています。





病院がより質の高い医療サービスを提供するために、医療技術は当然のことながら、全職員と患者・利用者さんとの接点においても「満足度」を高めることが必要です。病院に足を踏み入れ、診療・検査・治療が終わり、会計を済ませて出ていかれるまでの間、医療以外の事柄についても、この病院にかかって良かった、と思ってもらえることが少しでも多くなるように、何が足りないのか、改善する点はあるのか、などを常に考えておくことが求められています。このことを客観的に評価するために（公益財団）医療機能評価機構の病院機能評価では、患者満足度・待ち時間調査を定期的に行うことを求めています。中津病院では毎年夏の終わりに、それらの調査を行っており、本年は入院満足度調査を8月16日に、外来満足度調査を20日、外来待ち時間調査を21日に行いました。調査の実施集計は、看護学生10名と患者サービス委員会の委員で行いました。

調査はアンケート記入形式です。まず中津病院で医療を受けられている理由をお聞きしています。次いで医師や職員の説明の分かりやすさ、聞く態度、知識、技術のレベルの印象、身だしなみや言葉遣い、治療を受ける安心感、設備の他、入院されている方には、病院の環境、食事について、外来の方には待ち時間、プライバシーへの配慮について聞いています。待ち時間については病院の薬局と3階外来受付で実際に計測しています。結果は次の通りです。

今年度は638名(有効回答数)入院299名、外来339名の方から貴重なご意見をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

① 当院を選ばれた理由をお聞きしました
 受診の理由としては、他院からの紹介の方が363名(入院150名、外来213名)と最も多く、約5割の方が紹介状を持って来院されています。続いて交通の利便性を回答された方が191名(入院98名、外来93名)27%と、当院の立地の良さが伺えます。

② 外来での職員の対応、病院内の環境についてお聞きしました
 評価方法として、回答の「とても良い」「良い」「普通」「少し悪い」「悪い」までの評価を5点から1点に換算しました。
 「待ち時間」3.06点、「プライバシー」3.85点、以外の6項目で平均4点以上の評価をいただきました。
 例年同様、待ち時間が長いとのこと意見が多かったのですが、薬局に関しては、ほぼ待ち時間はなかったという結果になりました。
 この後の③で、実際の待ち時間を計測した結果をお示しいたします。

③ 外来での待ち時間を調べました
 「3B」「3C」「薬局」の3カ所で調査しました。

「薬局」では、薬局の待合に入ってから薬を受け取るまでの時間を計測し、「3B」「3C」ではそれぞれの受付カウンターで受付をされてから診察室に入るまでの時間を計測しました。
 待ち時間の平均は「薬局」で約1.1分でした。しかし、「3B」と「3C」は50分以上と、長くなりました。薬局の待ち時間はほぼ解消されていますが、「3B」は60分以上待たれている方も多数おられ、診療科の特性による点を「ご理解いただく必要はあるものの、職員一同改善に努め、満足していただけますように心掛けていきます。」

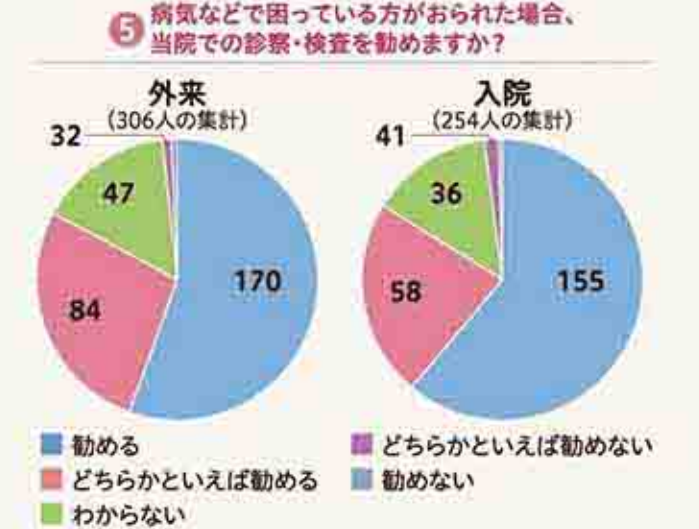
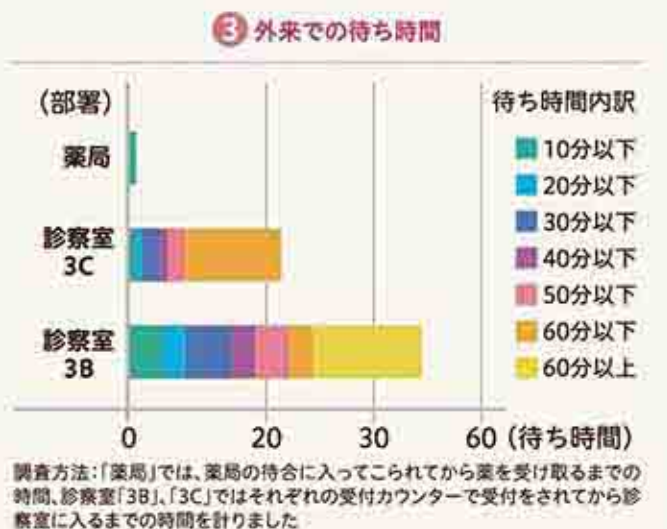
④ 病棟での職員の対応、病院内の環境についてお聞きしました
 評価方法は「とても良い」「良い」「普通」「少し悪い」「悪い」までの評価を5点から1点に換算しました。
 「説明」4.3点、「聞く態度」4.3点、「知識・技術」4.0点、「接遇」4.3点、「安心度」4.5点、などの職員の対応は「良い」と評価されています。しかし、「病室の環境」3.9点、「設備」3.9点とやや低めの評価でした。

「病室の環境」に関する具体的な意見として、温度管理に関して(3件)、テレビ、明るさに関して(2件)、インターネット環境がない、トイレクリーナーを常設してほしい、トイレ男

女一緒が嫌、ベッドシーツの清潔さに関して(2件)、各ベッドから窓の外が見えない、トイレがいつも汚い、廊下がまぶしすぎて夜眠れない、などが挙がりました。また、「設備」に関するご意見は、シャワールームに関して(4件)、トイレに関して(3件)、エレベーターに関して(2件)、清掃に関して(1件)、広さに関して(2件)、温度管理に関して(2件)、ベッドシーツの清潔さ、ベッドシーツの交換が少ない、保冷庫、洗面台が汚かった、お茶の機械がよく壊れる、自動販売機、テレビの料金(2件)などが挙がりました。「食事」3.2点に関しては、良い評価はいただけませんでした。

⑤ 病気などで困っている方がおられた場合、当院での診察・検査を勧めますか？
 当院を「勧める」「どちらか」といふと勧める「合わせて8割以上いらつしやることは私たちがとって大変励みになります。」

今年度のアンケート結果を、全てのご意見を真摯に受け止め、「ご期待に沿えるように、引き続き努力してまいります。」
 今年もアンケート調査と待ち時間調査にたくさんの方に協力いただき、ありがとうございました。





ここが気になる！ セルフチェック

Check!!
Check!!

vol.4

逆流性食道炎

- 酸っぱいもの(胃液など)が
込み上げてくることはありませんか?
YES NO
- 前胸部に痛みを感じることはありませんか?
YES NO
- げっぷがよく出ませんか?
YES NO
- 喉に違和感を感じていませんか?
YES NO
- せきが続いていませんか?
YES NO

逆流性食道炎はその名の通り、胃の内容物(主に胃酸)が食道へ逆流することにより起こる病気です。診断は内視鏡検査で行われますが、食道の胃に近い部分を中心にびらんや潰瘍が認められ、重症のものを長く放置すると狭窄やがんが発生することもあります。治療は過食を控え(特に脂質や糖質の多い食事)、肥満のある方は減量に努めることが大切ですが、それだけでは不十分なことも多く、病態に応じた薬物治療(酸分泌抑制剤や粘膜を保護してくれる薬、消化管の運動を改善する薬など)を受けていただくことが必要となります。逆流性食道炎の方では、胸焼け、げっぷ、前胸部の痛みなどの症状の他に喉の違和感やせきなどを自覚することもあり、気になる症状をお持ちの方は一度消化器内科への受診をお勧めいたします。



消化器内科 部長 岡田 明彦

狭心症

- 普段、習慣的に何か運動はされますか?
例えば日課として少し早足で30分程度歩いたり、
毎日のお買い物などで重い物を持って
15分ぐらいは歩いたりしますか?
YES NO
- 普段の通勤や習い事などの経路の中で
長い上りの坂道や階段はありますか?
YES NO
- 最近、これまでの日課であった運動中や
通勤の途中に胸がつかいと感ずるようにな
っていませんか?
YES NO
- 胸のつらさは足を止めて休んでも
数分以上にわたって続きますか?
YES NO

狭心症は心臓が狭いと書きます。これは心臓のどこが狭いかというと、心臓に栄養を届ける冠状動脈と呼ばれ、心臓を包むように走る血管が狭くなるのが原因の病気です。典型的な狭心症は血管の内腔側にある脂質などが溜まったプラーク部分が突然破れることによって一気に内腔が狭くなり、セルフチェック前半でお示したような、日常生活の中で普段は問題なくできていた活動に突然支障が出現するようになってしまいます。

しかし少し症状が落ち着いてくると、皆さんは驚かれるかもしれませんが冠状動脈の狭窄が70%以上になっていても採血や安静での心電図、心臓エコー検査では異常を発見することは困難です。このような場合でも循環器内科専門の医師やスタッフが丁寧に問診することで、かなりの精度をもって危険を察知することが可能となります。「急を要する状態であるのか?」「まずは心臓CTなどの追加の検査をすればいい状態なのか?」皆さんの状態を適切に判断し、症状の改善へとつなげてさせていただきます。

セルフチェック後半のような症状が最近気になってこられた方はぜひ循環器内科を受診いただければと思います。



循環器内科 木島 洋一



感染管理室 室長
安井 良則

冬から春にかけての

感染症対策

1月~3月

10月~12月に引き続き、インフルエンザの流行が予想されます。1月~3月にかけても特に注意が必要です。また、溶連菌感染症(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)やヒトメタニューモウイルス感染症は乳幼児や小児の集団感染の恐れも高く、手指衛生を中心とした感染対策の徹底を心掛けてください。

1月~3月にかけて注意が必要な感染症

・インフルエンザ

●溶連菌感染症(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

●溶連菌感染症(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

溶連菌感染症は、学童期の小児に最も多く、3歳以下や成人では典型的な症状が現れることは少ないといわれています。溶連菌感染症の症状が疑われる場合は、速やかにかかりつけ医を受診しましょう。溶連菌感染症と診断され、抗菌薬が処方された場合は、医師の指示に従うことが重要です。途中で抗菌薬をやめた場合、病気の再燃や糸球体腎炎などの合併症を起こすことが知られています。

●症状

- ① 38度以上の発熱と全身の倦怠感
- ② のどの痛みや嘔吐
- ③ 舌にぶつぶつができる「イチゴ舌」



●予防

主な感染経路は、発症者もしくは保菌者(特に鼻咽頭に保菌している者)由来の飛沫による飛沫感染と濃厚な直接接触による接触感染です。物品を介した間接触による感染はまれとされていますが、患者もしくは保菌者由来の口腔もしくは鼻腔由来の体液が明らかに付着している物品では注意が必要です。発症者に対しては、適切な抗菌薬による治療が開始されてから48時間が経過するまでは学校、幼稚園、保育園での集団生活は許可すべきではないとされています。

●ヒトメタニューモウイルス感染症

●ヒトメタニューモウイルス感染症

気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症を引き起こすウイルスの一種です。1~3歳の幼児の間で流行することが多いのですが、大人にも感染します。症状は風邪症状にとってもよく似ています。小児の呼吸器感染症の5~10%、大人の呼吸器感染症の2~4%は、ヒトメタニューモウイルスが原因だと考えられています。特に乳幼児や高齢者では重症化することもあり、注意が必要です。

●症状

- ① せき・鼻水
- ② 発熱
- ③ ゼイゼイ、ヒューヒューという呼吸

●予防

ヒトメタニューモウイルスは、RSウイルスと同様に飛沫感染と接触感染が感染経路であり、やはりRSウイルスと同様に感染力は強いといわれています。保育園・幼稚園や小学校などでの集団感染に注意する必要がありますので、帰宅時の手洗い・うがいを徹底しましょう。

また、家庭内でも感染してしまうことがあります。ご家族の調子が良くないときは、ウイルス感染が拡がらないよう、マスクを着用する、タオルの共用を避けるなどの感染対策をしましょう。





楽しいイベントが盛りだくさん!
ぜひご参加ください。

TOPICS

ホスピス緩和ケア週間イベント



令和元年10月9日(水)ホスピス緩和ケア週間2019のイベントを開催。今年も多く

の患者さんやご家族、病院スタッフで賑わいました。緩和ケアに関する動画上映やポスター掲示、また専門職による無料相談が行われました。さらに今年は特別企画としてホスピタルアートやカラーセラピーで活動している「ひというプロジェクト」さんに協力いただきカラー診断と手作りボタンのワークショップを開催しました。体験された方は「日常とは違う体験ができて気分が明るくなったし、似合う色を褒められて、とてもうれしかった」と喜ばれていました。

集団献血「レッツ献血！」



令和元年10月5日(土)「レッツ献血2019」を開催。同イベントは、大阪府赤十字血液センターから中津病院敷

地内での集団献血の実施依頼があったことをきっかけに、開催された院内献血イベントです。対象は中津医療福祉センターのスタッフと看護専門学校の学生でしたが、当日は100名を超える職員や看護学校の学生、病院ボランティアスタッフから献血の申し出がありました。当日受付前には職員が手作りの献血キャラクター「けんけつちゃん」の照明や置物が飾られ、献血に訪れた方を歓迎しました。担当職員は「台風などの自然災害の影響で全国的に血液製剤の不足が続く中で非常に意義のあることであり、職員や学生達の社会貢献の気持ちがとてもうれしかった」と話していました。

世界糖尿病デー



令和元年11月14日(木)毎年恒例の世界糖尿病デーのイベントが開催されました。この日に合わせて、フォトコ

ンテストや前庭のブルーライトアップを開催。14日のイベント当日にはフォトコンテストの応募作品の展示と受賞作品の発表展示、無料の血糖測定、血圧測定や健康相談、パンフレットの配布などが行われました。普段、血糖測定をする機会がない方も血糖測定を体験し、思ったより血糖値が高いことに驚き、看護師や医師からのアドバイスを受ける場面もありました。イベントを通して糖尿病予防に寄与することができたと感じました。

2019年度文化祭



令和元年10月31日(木)・11月1日(金)の2日間、中津医療福祉センター「文化祭」が開催されました。今年で43回目

の開催となった文化祭は患者さんや入所者さん、職員による作品が展示され、毎年多くの来場者で賑わいます。また、毎年大人気の一般社団法人エル・チャレンジ福祉事業振興機構のご協力によるパンやクッキー、雑貨などの販売も行われ、お昼時にはたくさんの来場者が買い求めました。先日のホスピス緩和ケア週間のイベントのワークショップで、来場者の方が作られたボタンの写真を使ったホスピタルアートも公開され、多くの人々を魅了しました。

EVENT

2月

2月15日(土) ■15:30~16:00 ■場所/北棟2階エレベーター前
中津病院ロビーコンサート

2月29日(土)

■14:00~15:30 ■場所/南棟2階講堂

なかつ病院市民講座

- ・女性ホルモンに関わる症状や疾患
産婦人科 医師 久周作
- ・がん細胞を見てみよう
病理診断科 医師 宮城 佳美

2月29日(土)

■14:00~15:30 ■場所/西棟3階会議室

小児アレルギー教室(基礎編)

- 【気管支喘息】ぜん息発作時の対応
担当看護師
- 【アトピー性皮膚炎】アトピー性皮膚炎ってどんな病気?
担当医師
- 【食物アレルギー】食物アレルギーってどんな病気?
担当医師

3月

3月7日(土)・21日(土)

■15:30~16:00 ■場所/北棟2階エレベーター前
中津病院ロビーコンサート

3月19日(木)

■17:30~19:00 ■場所/南棟2階講堂

なかつ地域医療連携勉強会

- 高齢者難聴への対応
~健康寿命をささえる~
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長 東川 雅彦
※医療従事者のみ参加できる勉強会です。

3月21日(土)

■14:00~15:30 ■場所/西棟3階会議室

小児アレルギー教室(発展学習編)

- 【気管支喘息】
アレルギー性鼻炎をよくすればぜん息もよくなる?
担当医師
- 【アトピー性皮膚炎】かき破りを防ぐ遊ばせ方
担当保育士
- 【食物アレルギー】
エビベン講習会!緊急時の対応を身につけよう!
担当看護師

がん領域における薬剤師の役割

がん医療の進歩に伴い、がん薬物療法はより多様化、高度化しています。病院におけるがん治療では、高い専門性を備えた医療従事者によるチーム医療が推進されています。薬剤師についてもがんの薬物療法について専門的な知識を持ち、良質の医療を提供する人材の養成が必要と考えられるようになりました。がん領域における薬剤師の仕事内容は、がん治療における医療チームの一員として多岐にわたります。



薬剤部部长
萱野 勇一郎先生

がん領域における
薬剤師って
どんなことをしているの？

安心してがん治療を受けられるようサポートします！



がん治療のスケジュールや薬の投与量チェック

抗がん剤治療は治療ごとにスケジュールが異なっています。また、体格などによってお薬の量も異なります。患者さんごとにスケジュールやお薬の量に間違いがないか確認を行っています。



抗がん剤の調製

患者さんに投与する薬剤を清潔な状態で調製しています。



化学療法の副作用管理

抗がん剤治療において重要なことは、そのつらい副作用を予防したり、少なくしたりして、安心して日常生活を送ることにあります。薬剤師は患者さんに副作用が出ていないかを確認し、つらい症状を少しでも和らげることができるよう副作用の管理を行っています。

脱毛



嘔吐



口内炎



患者さんが安心してがん治療を受けられる服薬指導や環境づくりも担います

患者さんが医師の説明を十分に理解できていない場合も多いので、不明点を埋める役割を担います。先生のお話をどのように理解したかを確認したうえで、副作用の説明をするようにしています。副作用については、症状の説明だけではなく、例えば最初は副作用を感じなくても治療の回数を重ねてから出る可能性があることや、副作用によって生活にどのような支障が出るかなどを具体的に話しているようにしています。



地域の保険薬局との連携によるサポート

病院でお薬を処方されず、保険薬局で抗がん剤を処方されるケースもあります。中津病院では地域の保険薬局と副作用情報の共有をし、地域で患者さんをサポートする体制を現在構築中です。



中津病院では地域の保険薬局と連携したサポート体制の構築に取り組んでいます。

